

平成30年度 教育指導の重点

岐阜県立池田高等学校

(全日制の課程)

1 教育目標

校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。

2 教育の方針

- (1) 自ら課題を設定し、自ら学び考えることで、主体的に判断・行動し、よりよく問題解決を図る能力の育成に努める。
- (2) 自ら掲げた進路目標を達成するために、自主的・主体的な学習態度の確立を図り、学力の育成に努める。
- (3) 他人と協調し、他人を思いやり、他人の支えに感謝する心豊かな人間性の育成に努める。
- (4) 自立心をそなえ、たくましい体力と気力の育成に努める。
- (5) 環境の美化に努め、汗の尊さを理解し、奉仕の心、自然を大切にすることの育成に努める。

3 学習指導の重点

- (1) 基礎基本の定着と学力の向上を図る。
 - ア 生徒の習熟度に応じた指導計画を立て、「分かりやすい授業」、「一人一人の学力が伸長する授業」の展開に努める。
 - イ 各種考査の結果、授業点検表の結果等を分析することにより授業を評価するとともに、授業研究を行い、より効果的な授業となるよう改善・実践に努める。
 - ウ 個別指導を行い、一人一人の特性に応じた学力の伸長に努める。
- (2) 主体的な学習態度の育成を図る。
 - ア 思考の過程や自己を表現する活動を大切にして、一人一人の生徒に達成感と成就感を持たせる授業の展開に努める。
 - イ 創意工夫を凝らした授業により学習意欲を喚起し、主体的な学習習慣の確立に努める。
 - ウ ICTを活用して、生徒の興味・関心を高める。
- (3) ユネスコスクール推進校として活動を充実させ、ESD（持続可能な開発のための教育）に基づく福祉教育・国際理解教育・環境教育の充実を図る。
 - ア ESDを通して、社会の諸問題について考え、解決するための学びを推進することで、生徒が持続可能な社会の担い手となるように努める。
 - イ ESDによって、持続可能な将来が実現できるような価値観が生徒に醸成されるよう努める。

4 生徒指導の重点

- (1) 自己指導能力の向上を図る。
 - ・時間励行と明るい挨拶の実践 ・問題行動の未然防止、早期対応の徹底
 - ア 毎朝の遅刻指導。生徒会、MSLによる挨拶運動やボランティア活動に積極的に参加する。
 - イ 教育相談週間（年2回）を実施する。
- (2) 規範意識の向上を図る。
 - ・端正な身だしなみ
 - ア 年間を通じてイエローカードによる指導を実施する（身だしなみ及び携帯電話の取り扱い指導）。
- (3) 交通ルールの遵守とマナーの習慣化を図る。
 - ア 業者による自転車点検の実施、交通安全講話の実施、育友会と連携した朝の交通指導を実施する。
 - イ 夜間防犯の為の反射板（星形）の生徒への無料配布を行う。
- (4) 携帯電話・スマートフォンの正しい使用方法を身に付ける。
 - ア LHR等を活用して啓発活動を行う（携帯電話・スマートフォン安全教室の実施等）。
 - イ 携帯電話、スマートフォンは、登校時から帰りの掃除終了まで使用を制限する。
- (5) 関係機関等との連携を図る。
 - ア 揖斐郡内小・中・高生徒指導連携強化委員会、学校警察連絡協議会での情報交換及び学校・警察とのサポート制度・スクールカウンセラーの活用に努める。

5 進路指導の重点

自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる。

- (1) 生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進する。
 - ア 計画的、組織的な進路指導体制を確立する。
 - イ 卒業後も見通した全体計画、年間指導計画となるよう工夫改善する。
- (2) 望ましい勤労観・職業観を生徒自ら形成・確立できるようにする。
 - ア 体験的な学習や外部の教育力を活用する。
- (3) 将来の夢や希望の実現に向けて主体的に進路選択ができるようにする。
 - ア 情報提供や説明及びそれらに基づいた学習等のガイダンスの機能を充実する。